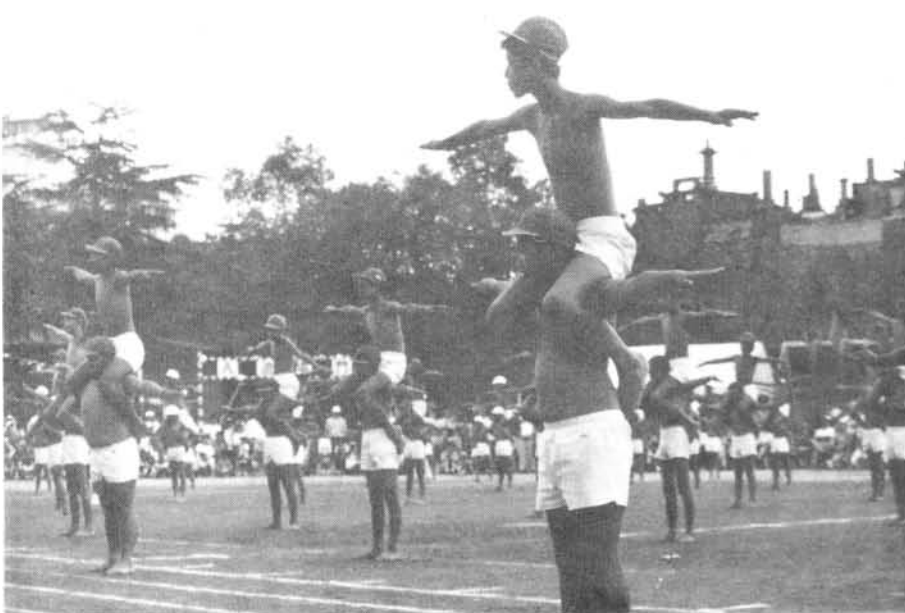


が ん ば

島三小育友会報
発 行 部
広 報 部

【第83号】

力の結集 美の祭典



みんなの力で大運動会が！！

六年担任 松尾好則

台風の接近で風雨に悩まされ、前日の会場設営が十分にできず、やきもきさせられた今年の秋季大運動会。昨年のが頭に浮かびあがってきました。

「マーチ」。小学生になって初めての運動会。まだあどけなさは残りますが、幼稚園児にない、しっかりとした演技ぶりでした。

しかし、当日は早朝より、先生方はもちろん、五・六年生全員、さらに育友会役員やご父兄のみなさんのご協力で、あつという間に会場設営が済み、計画に二十分遅れの演技開始となりました。いっもながらの三小のみごとな連続プレーはさすがだなあと改めて感心させられた次第です。ほんとうにご協力ありがとうございました。

二年生の「走れ島原新幹線」は図工の時間に自分たちの手で作った汽車を使つての演技。三・四年生全員によるみごとな「ちびっこ不知火太鼓」。力強さが感じられました。五・六年生女子による「夢多き女」では表現運動として、自分たちが作った創作ダンスをとり入れ、優美なダンスを披露してくれました。男子は組体操「美の祭典」で協力することの大切さを感じつつ、造形美を作り出しました。

さて、今年の運動会の特色としては、二つのことがあげられると思います。

もう一つは、子どもたちの係の手ざわ良さを通しての進行ぶりの充実があげられると思います。

一つは、演技種目の精選・充実だと思えます。運動会というのは言うまでもなく、体育学習の発表の場としての大きな意義をもっています。ふだんの体育の授業の発展として各学年ともその特徴がよく生かされてきました。

最後に、来年度もさらにすばらしい運動会ができますよう期待しながら、ご協力に対してのお礼にかえたいと思います。

一年生による「ミッキーマウス

自転車点検の実施について

交通部副部長 前田 さとみ

六月二十五日に予定されていた自転車点検は、雨天の為延期され七月十五日梅雨明けの炎天下の中行なわれました。

自転車を引いての登校は、町内代議員さんの引率のおかげで事故なく、八時過ぎには学級ごとに整然と並べられ、八時三十分より点検が開始されました。

白山地区の六店の自転車屋さんの、子供達の無事を祈つてのご好意で一台／＼丁寧な点検・修理をして頂きありがたく思いました。

三、四年と進むにつれ、暑さはジリジリと増し、自転車屋さんはじめ参加して頂いた先生、父兄も汗だくになりながらも作業は進められ、予定していた時刻よりも早く終ることが出来ました。

参加台数は児童数六四二人のうち三四二台、合格車は二六八台で合格率は七八、四％で保険加入の自転車も二〇五台で好成績であったと思います。

なお、不合格車は、ブレーキがきかなかつたり、ライト、ベルがこわれていたり、危い人身事故につながるものです。不合格車は一日でも早く近くの自転車屋で修理を受け、安全な自転車に乗って下さい。また、点検日に学校に持ってこられなかった自転車は、家

庭でもある程度は点検されますので親子で点検してみてもどうでしょうか。自分の持物は自分で管理する習慣も身につけていきたいものです。

交通部の一学期中の大きな行事である自転車点検を実行するにあたり、自転車屋さんを始め、学校側、常任委員さん、町内代議員さんのご協力を頂きありがとうございました。交通部員の方々、前日からの準備等、ごころうさまでした。

児童も皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、交通ルールを正しく守り安全運転に心がけて下さい。



土俵整備作業に参加して

桃山町代議員 中野 末 喜

土俵整備作業の際は、御多忙中にもかかわらず、体育部長さんをはじめ各部長さん、常任委員さん、並びに代議員さん達の積極的なご協力で依り立派な整備が出来、子供達が、安心して相撲を取れる様になりました。

私も初めて作業に参加致しまして一言感想を述べさせて頂きますと、思ったより作業は人がかりなもので、赤土をダンブに何台も用意され、小型ユンボでならし、後は皆さん達の俄か土方で、赤土にまみれ汗だくで、翌日は足腰が痛くなられる位一生懸命精出して下さいました。幸いにも機械等は、無償で借る事が出来、経費も最少限でおさえられた事と思いません。その結果、九月十五日の校内相撲大会では、怪我人もなく、元気な豆力土達が精一杯がんばっている姿を見て、喜びもひとしおでした。

来年も又、土俵整備の際は、メンバーは変わっても役員さん、代議員さんや皆様のご協力をお願いし、私も微力乍らお手伝いをさせて頂きたいと思えます。

ご協力下さった皆様、本当にご苦労様でした。



このたび機会を得て、アメリカカナダの教育事情を視察してきました。足かけ十七日間の行程は、おおよそ次のとおりです。

成田—サンフランシスコ市—ストックトン市—トロント市—(カナダ)—ダラス市—デンソン市—ロサンゼルス市—ティファナ市(メキシコ)—ロサンゼルス市—成田

この間、各地の教育文化施設や教育委員会、小・中・高校を訪問視察をしました。わずか半月余りの視察であり、その上に言葉の障壁のある中で視察でしたので、おこがましい限りではありますが、その印象の一端を御報告します。

まず、学校を訪問して気づくのは、子どもたちが実に伸び伸びと学校生活を送っていることです。個性尊重の精神が徹底しているお国柄が、このような面にもよく表われているようです。

中学校では女の子のおしゃれに目を見張られました。ネックレス、ピアス、口紅、アイシャドー、マニキュアなど、ありとあらゆるお化粧をしています。ですから、教室も華かなふん囲気が漂っています。

個性をもっており、好感もてるものでした。もちろん、学校としての指導は行われています。私たちの質問に対しても、ある中学校長は、「あまりにも感情的なものや、退廃的なものに対しては、厳しく指導しています。」と答えました。その表情からは相対的に強い姿勢がうかがわれ、人事ながらホッとした次第です。

ところで、このような伝統は、多くの人種や民族が混在する国であることに、その理由が見出せようです。つまり、それぞれに異なる慣習や伝統、あるいは考え方を持つ者同士が、一つの国家の中で共同の生活をする時に、もつとも有効な手段は、それらを含めたお互いの人格・個性を尊重しあうことだろうと思えます。それが、こ

された小学校校長の言葉に、うなずかざるを得ませんでした。私たちに説明してくれた教育長は、最後に「人種の混在は、私たちにとつては最大の宝物です。」と胸を張りましたが、なるほど、このような環境の中から、真の国際人が生まれるのではないかと、つくづく思いました。しかし、いいことづくめではあ

海外教育視察記 情障担任 大隅謙一郎

アメリカ・カナダの教育事情



の国の強い伝統を築き上げている最大の要素となっているように思えます。

アメリカという国は、実にさまざまな人種が入り込んでいます。ストックトン市(カリフォルニア州)周辺の、一万七千人の小・中学生の人種比率は、

- ・白人 33%
 - ・スペイン系(メキシコ人) 29%
 - ・アジア系(日系・中国系) 17%
 - ・黒人 15%
 - ・フィリピン系 5%
 - ・インディアン 1%
- となっています。白人優位とばかり考えていた私の考えは、みごとにくつがえされてしまいました。「国際連合のような……」と形容

りません。難民さえも積極的に受け入れていくカリフォルニア州では、ほとんど母国語(英語)の理解できない人々の教育に全力を傾注しています。

その点、同一民族、同一言語の我が国は、本当に幸せだと思えます。その分、さまざまな学力の向上に力を入れることができるわけ

です。現在、アメリカの教育界は、日本の教育に学ぼうという気運が高まっています。事実、多くの教育関係者から、逆に質問を受ける場面もありました。

アメリカ—本場に大きな国です。移動するたびに時差調整が必



要でしたし、在米中に襲ったハリケーンは日本をすっぽり覆うような大きさでした。訪れたカリフォルニア州やテキサス州は、我が国の一、五倍の広さがあります。

大国であるが故のひずみも数多くあります。「差別撤廃条例」が施行されているということは、人種差別等が依然として根強いことの裏返しでしょうし、高い失業率や治安の悪さ等も目にしました。

しかし、教育の力によってそれらを克服しようとする教育関係者の熱意に、深い共感を覚えたものです。デントン市教委とのレセプションで、「21世紀を担う子どもたちのために」と乾杯したシーンを今も忘れることができません。

進み行く学校美化

五年担任 林田尚三

来校される御父兄のみな様方から、最近の第三小学校の校庭がとくに「美しくなったなあ」という声を耳にするようになりまして、学校長はじめ先生方が環境美化にとりくまれ、よりよい教育的環境づくりに日々努力された結果と思います。旧校舍屋上からの雨も、旧白山公民館跡地の整備、校庭の樹木の配置や手入れ、排水溝の清掃などを本年度の計画に、その一つ一つを職員作業、育友会の協力を得て実施してまいりました。白山公民館跡地には広い学級園が完成しました。来年の春には美しい花が色とりどりに咲きみだれることでしょう。また、足もとの悪い西側登校口も、九月には美しく整備され、すっきりした景観を目にすることができました。

旧校舍の屋上のひびわれ、排水溝のつまりなども本年度の夏季休業中に修復され見れがえる程になりました。テレビのアンテナの補修、配線の点検もあわせて実施しました。旧校舍北側の側溝の中には、数年分の土砂がうまり、雨天のたびに水があふれるという状況でしたが、若い先生方がどうまみれになって排水溝の清掃をして下さり溝ぶたも新しくなりました。

プール周辺、学級園の除草作業も全学年の児童、先生方といっしょになって美化につとめました。おかげで今年の運動会は、美しく整備された中で実施されたのです。学校の生活部としては九月、十月を「学校の月」にしております。平素から校舎内外の清掃にとりくみ、今後は、チリの多い学校という悪いイメージをなくして行きたいものです。

今年の台風13号の被害は軽微にすぎましたが、大きなヒマラヤ杉二本を失ったことは残念でした。



町内訪問を実施して

教養部副部長 平野義春

去る七月二十九日、三十日、生色々な協議事項がもち上っていた活部と共催の町内訪問が実施されました。前日の校内球技大会と引き続き、担当の先生方、各町内の会議員の方々には、会場の設営、会員の参加呼び掛けと、大変御苦勞が多かった事と思います。

この頃、毎日と言っているように「マスコミ」で問題になっている子供達のいじめ、非行問題、あかさつ、家庭内外のしつけなど、

頭張って生きていくのです。子供は親が自分の考えだけで育てるのではなく、立派に育つように助言してやったり、良い環境を作ってやってこそ、もともと生き生きと成長していくのでは………と思いました。

最後に今回の出席率は四十五%前後ではないかと思われまます。個人の意見ではありませんが、役員さんまかせで何事もよろしくお願いいたしますの意向が多いように思えます。何かとお忙しい事情があるられるかと思いますが、数多い出席こそと色々な内容ある意見が、やりとり出来る事と思いたた。

キャンプ講習会を終えて

体育部副部長 嶋川義頭

去る七月十三日、生活部と体育部の共催によるキャンプ指導者講習会が、三小校庭及び体育館で実施され、各町内から、約五十余名の方々の参加がありました。

前日の生活部と体育部による、飯盒炊さん用の「メニュー会議」(？)から始まり、薪運び、先生方には、キャンドルファイヤーや、レクリエーションの準備と、用意周到のうちに当日を迎えました。

始める、大隅先生から、キャンプの目的、飯盒炊さんのねらい等での説明があり、中でも、キャンプでの食事や飯盒炊さんには、いろいろな意味合があることがわかりました。続いて、かまど造りから始まり、薪集め、薪割り、米とぎをおかず作り等々、一つ一つの仕事を各人が責任をもってやりとげるという、まさにグループ活動の一番大切なことであり、社会のしくみにも似たものを感じました。

さて、説明会も終わり、実習と

なりました。五、六名のグループ別に、飯盒が渡され、「飯炊き」が始まりました。最初から勢いよく燃えるグループ、なかなか火が登らず、煙ばかりのグループなどが、「ワイワイガヤガヤ」にぎやかです。出来ばえもまた様々、硬めのお粥あり、こげ飯ありで、なかなか思うようにはいかなかったようです。

初めての試みにしては、大成功だったと思います。次回には、もっと多数の参加を得て、育友会の方々から子供達にキャンプの楽しさを味合わせていただきたいと思います。

町内対抗リレー

坂上町 松尾和子

「Eパート優勝・坂上町」、満足そうに表彰を受ける主人の姿、

優勝は、なれている坂上町だが、私にとって今年、少し重みを感じた「優勝」だった。

親の目 子の目

最後の運動会に、主人が出場する破目になり、チームの足を引っぱるのでは!!と、とても心配だった。「お父さん、坂上町は、伝統があるんだからネ、二位や三位は許されん」とよ、「バカ言え、スポーツは、参加する事に意義があるんだ。」と、主人。

そんな私の言葉に発奮したのか日頃、運動と縁遠い主人が、一週間、仕事の後で、約四キロの練習をつんだとか……。中年肥りの腹も、ほんの少しへこんだど、本人は二重の喜び様だった。

初めてはいいた短パン姿も、似合っていたとか、いなかったとか……。親子で楽しめる運動会、なんと言っても小学校の運動会が、一番思い出に残るものである。

外野席の声を聞くと、「どうしてあんな格好して二位や三位はおかしなかい」との声。太い足も気にもせず、皆で見せれば怖くないと、女性も短パン姿、勇気があるネ!チームワークは勝利につながることを感じた。

「三男の入学を前に三小地区にお世話になり、思いやりと、チームワークの良い坂上町に来て早くも六年」、子供はもちろん、私共も廻りの方々に育てていただき感謝の気持ちで一杯です。

深まりゆく、秋の気配の中で、しみじみ、幸福を感じた一日でした。

応援団

六年 熊本哲朗

初めは、応援団はあまりなりたくなかったが、みんなが決めてくれたのでいっしょうけんめいがんばろうと思ひ練習にとりかかった。まずはじめは、応援のプリント作成。この時男子、女子ともあまり協力しあっておらず、ほんとうに応援団という任務をはたせるのだろうかと思ひながら仕事を進めていった。プリント作成もおわり、次は各学級に指導する仕事。応援団が指導にあたると、みんなも大きな声で応援の練習を熱心

きば戦

六年 鶴田美妃

六年生最初の種目、きば戦が始まります。きばをつくり、各組が堂々と入場してきました。

男子の戦いが終わり、いよいよ女子の番です。私と金崎さん、植部さん、中川さんでつくるきばは、二組の女子では最強と思います。「パーン」というピストルの音で、ほかの組との戦いが始まりました。私たちは、弱そうなきばのハチマキをねらいました。三つ

きばのハチマキをとったところ

にしてくれた。この時、ぼくはともうれしく、応援団になってよかったとつくづく感じた。次は、全校練習がある。一組応援団集合と声がかかった。ドキドキしながらやかましいようにフエをふき、走って前へ出た。応援の途中もずかしくて固くなり、あまり声も出ず体も動かないようになってしまい、どうしようもなくなりました。応援がはじまった。自分で自分に「最後の運動会だ、いっしょうけんめいがんばる。」といきかせながら応援をやっていました。ぼくは、最後の運動会に応援団をできてとてもよかったです。

「パーン」とやめの合図のピストルが鳴りました。きばは、自分たちの場所にもどりました。二組は四き残って女子の戦いでは二位でした。

最後に男女混合での戦いです。この戦いが勝負をきめるので、応援の声も高まりました。「パーン」とピストルが鳴り、「ヤアー」という声といっしょに戦いが始まりました。私たちは、あつけなくハチマキをとられました。

戦いが終わり、総合の結果四組と二組が優勝です。私は、優勝できてとてもうれしかったです。応援席でもいっしょうけん命応援してくれて、とてもよかったです。

三年 地球を守れ!!



二年 島原新幹線



昭和60年度
生活標語
入選作品(2)

やめよう 仲間はずし

みんな仲良し 三小っ子

白土船津上 六年 有田 寿和

有田 寿美男

良い事は 引き受け

悪い事はことわるみんなの勇氣

白土船津上 五年 綾部ひとみ

綾部ひろ子

出かける時は 行き先と

帰宅時こくを つげようね

白土船津下 六年 坂本 大輔

坂本 直樹

食事時 テレビを消して

家族の会話を 大切に

白土船津下 三年 酒井 幸雲

酒井 智好

とびだしきけん

ゆっくり歩こう いそがずに

浦田上 五年 三浦 順二

三浦 忠行

「おはよう」の

朝のひとこと 気持ち良く

浦田上 六年 松本 環

松本 勝正

しかるより

ほめる一言 家庭から

浦田・元船津 六年 江川 大吾

江川 照男

「こんにちは」「ありがとう」

この子はどこの子 三小の子

浦田・元船津 三年 青木 健一

青木 一輝

帰り道

人の誘惑 まけないで

津町・有馬船津 三年 太田 博昭

太田 昭則

よばれたら

「ハイ」と返事の 元氣な子

津町・有馬船津 三年 中島 佳

中島 幾郎

おはようの

声ではじまる 今日一日

みなと 六年 末永 直子

末永 和弘

良いことは

言われる前に すぐ実行

みなと 四年 杉永 富美

杉永 宏

きれいな町

心と心で つくろうよ

湊町 五年 星野 真智子

星野 親房

あぶないよ

たしかめようね まがりかど

湊町 三年 中村 たえ

中村 光徳

赤信号

見ないでわたると

白山町 六年 平野 友子

平野 岩義

守っていますか

学校のきまり 家庭の約束

白山町 二年 平野 恵津子

平野 義信

気づいたら

この手で拾おう クズやゴミ

下川尻 五年 奥村 聡子

奥村 禎久

話します

今日のできごと 父母に

下川尻 三年 本多 ゆき

本多 繁行

みんなで つくろう

ごみのない町

南下川尻 一年 永藤 雄大

永藤 正憲

「おはよう」と心から

あいさつできます ぼくも私も

南下川尻 一年 前田 大輔

前田 清治

六時の鐘

遊びをやめて さあ帰ろう

緑町 六年 松崎 弘幸

松崎 末喜

あいさつは

元氣いっぱい 朝・昼・晩

緑町 一年 吉岡 紀子

吉岡 清則

大相撲三小場所
親子フットベースボール

(九月十五日)

相撲の結果

○町内対抗戦

優勝 新山西

二位 緑町

三位 湊町

○個人戦

・三年 優勝 沖田 啓佑(三の三)

二位 本多 善久(三の三)

三位 友永真一郎(三の四)

・四年 優勝 西田浩一郎(四の二)

二位 佐藤 勉(四の一)

三位 小松 順一(四の一)

・五年 優勝 土井 雅己(五の二)

二位 松田要士成(五の四)

三位 川井 祐二(五の三)

・六年 優勝 山田 智伯(六の四)

二位 中野 元(六の一)

三位 熊本 哲朗(六の一)

フットベースボールの結果

・Aバート みなと

緑町

・Bバート 新山二丁目A

・Cバート 新山二丁目B

坂下・八幡

・Dバート 新山一丁目A

南下川尻



秋も深まり、今号は、盛り沢山の行事で満載です。

なかでも、運動会は前日の雨にもめげず、好天気恵まれて親子参加による声援など……

まさに、スポーツの秋たけなわ。編集会議も、スムーズに進

行しました。

今後共、会員皆様方の生の声を掲載下さいますよう、お願い致します。

T子